

# 県外派遣審判員報告書

作成日31年4月1日

大会名	全九州高等学校バスケットボール春季大会	会場	福岡市総合体育館
期間	平成31年3月23日～24日	報告者	千々岩 知佳
スケジュール			
期日		内容	場所
23日		審判会議	同会場・審判控室
	9:00	実技研修	
24日		観戦研修	
	9:00		

## レクチャー・審判会議の内容

- ・5分前、監督サイン。
- ・タイムアウトは、50秒立ち上がり60秒にはスタートが出来るように。
- ・マネージャーはファール数や得点が合わない場合、デッドの時にTOに伝え、デッドの時に対応を。
- ・各々がルールの確認、コミュニケーションを図りながら試合に臨むように。

ge-mu	割り当て	熊本商業 対 鶴鳴長崎女子	クルー	CC古後(福岡A級) U1樋口(大分B級)
-------	------	---------------	-----	-----------------------

### ○ゲーム前(プレカンファレンス)

- ・ガイドライン、メカニクス、2Pvs3P、プレイヤー、ベンチ管理、映像確認、チーム等についての知っている情報を共有。
- ・各々の課題について共有。
- ・持っている情報はあくまで持っている情報であり、その都度対応できるようにしていこうと話しました。

### ○ゲームの実際

3Q途中まで競り、両チームともドライブも外もあり最後まで面白い展開であった。  
個人的には、ゲーム序盤に目の前で起こったビッグインパクトの判定が出来ず、助けしてもらった。どちらに責任があるのか確認が出来なかった。1Qは熊本商業のファールが多かったが、試合が進むにつれ落ち着いてきたが、勝負所ではフォールが起こりクルーで笛にすることが出来た。両チームとも大きなアピールやトラブルはなかった。

### ○ゲーム後(ポストカンファレンス) クルーミーティング

1Qファール後のローテーションが上手く行かなかった所、序盤のビッグインパクト、1試合通して3、4回トリプルホイッスルが起こったので、誰のプライマリなのか、映像で確認をした。ローテーションやコミュニケーションについてはよく出来ていた。自分の課題も映像で確認をし、アドバイスをもらうことが出来た。  
リバウンドに関してももう少し意識をする必要があった。センターの役割をもう一度理解し、積極的に参加をしていきたい。

## 全体を通しての感想

今回、カテゴリー違いの九州派遣が初めてでした。ご配慮していただき、Aパートというよりレベルの高いゲームを吹かせて頂きました。この1試合で決断力のなさやプライマリーの意識をもっともたないといけないと感じました。どんな時でもファールやヴァイオレーションは起こることなので、そのことをもっと意識をし準備・予測をする必要があると思いました。自分のプライマリーは確実に判定をすること、セカンダリーの意識、その為には良い位置取りやアングルを実践を積んでみつけていく必要があります。今後は、クルーチーフの機会も増えてくると思うので、クルーチームメンタリティーの所も意識して任せられる審判員になりたいです。今回の派遣を通じて、今後の課題を明確にし、さらに向上心を持ち続け、研鑽を積んでいきたいと考えます。

最後に、ブロック審判長、福岡県審判長、開催権である福岡県高体連バスケットボール協会の皆様には大変お世話になりました。そして、今回の派遣にご配慮いただきました本県審判長をはじめ鹿児島県審判委員会の皆様にお礼を申し上げます。本大会派遣報告とさせていただきます。ありがとうございました。